

5 参加計画

(1) 基本的な考え方

本博覧会は、21世紀初頭に開催されるBIEの定める国際博覧会として、国と国際機関の公式参加を中核とした事業として展開される。

これまでの日本で開催された国際博覧会を超える国や国際機関の出展参加を実現すると同時に、21世紀の国際博覧会にふさわしい民間企業やNPO/NGOの主体的な参加と、多様な市民の積極的な参加を推進する。特に、「地球市民」と呼べる、新たな主体の創出を産・学・官・市民の交流を通して実現し、日本及び開催地の新たな活性化の契機とする。

主要な参加主体		主要な参加方法
公式参加	国 国際機関	<ul style="list-style-type: none"> ● モジュール単位によるパビリオン出展参加 ● エリアやブロックごとの魅力的な共有空間や演出空間づくりへの参加 ● パビリオン出展に併せ、ナショナルデー、屋外展示、催事、国際会議等のパビリオン出展以外の参加
日本政府		<ul style="list-style-type: none"> ● 日本政府による愛知万博の開催国としての出展参加
一般参加 (含む海外)	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ● 瀬戸市、長久手町、豊田市をはじめ、愛知県や名古屋市等ホスト役としての地元自治体の参加 ● 広域圏規模での自治体の参加
	企業 団体	<ul style="list-style-type: none"> ● パビリオン出展参加、協会企画事業参加など多彩な選択肢 ● 団体・組織の多様な参加
	NPO NGO 市民	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が自ら企画・運営する実行組織の設置 ● 積極的なボランティア参加 ● 国際的なNPO/NGOの参加
営業参加		<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ営業参加（博覧会のテーマや出店者の自主テーマに合わせた営業参加） ● 一般営業参加（物販飲食営業参加/公式記念品営業参加等） ● 有料サービス参加

(2) 各主体の参加勧奨の考え方

公式参加

- 1) 公式参加国の可能な限り多くの参加を推進し、文化・文明の多様性を体感できる質と規模を実現するとともに、より多くの国際機関の参加を促し、愛知万博のテーマ性をより高める工夫をする。
- 2) グローバル・コモンにおけるモジュール単位のパビリオン出展参加を基本とするが、陳列区の演出だけに止まらないグローバル・コモン全体の魅力づくりをともに目指す。
- 3) 愛知万博への理解、テーマの普及、参加勧奨活動を国際的な視野で推進する。（国際諮問委員会の開催/国際シンポジウムの開催など）
- 4) さまざまな海外とのコンタクト機会を好機として捉え、独自の広報活動と参加促進活動（愛知万博の魅力や参加メリット、参加条件などの訴求）を積極的に展開する。
（BIE総会/各種広報活動など）
- 5) 開発途上国の参加を奨励するため、企画段階より適切な支援を行う。

企業・団体・自治体の参加

日本で開催された従来の国際博覧会の企業パビリオンによる出展参加だけでなく、21世紀最初の国際博覧会にふさわしい新たな企業・団体・自治体の参加システムの構築を推進する。

特に、3つのサブテーマにふさわしい、新しい時代を切り拓く宇宙、生命科学、環境、情報通信などの先端技術、新しいライフスタイルを支える技術や生活文化など、新時代に向けた企業等の挑戦的な参加のあり方を追求する。

大項目	細目	説 明
パビリオン 出展参加	単独館出展	独立した建物を企業または企業グループ等で占有する参加形態
	共同館出展	複数の企業または企業グループ等が特定のテーマ（例えばIT、宇宙など）により共同で建物を使用する参加形態
	集合館出展	建物の内部を区切ったスペースを使用する参加形態
協会企画 事業参加	協会企画パビリオン	協会企画パビリオン（グローバル・ハウス）に協賛又は支援する参加形態
	協会企画事業	テーマをより強く訴求するために協会が主体的に推進する事業（「地球市民村」「創造力遊園地」「食と農」「市民交流プラザ」等）において、有力なパートナーとして資金協賛や技術提供、出品などの協力を行う参加形態
	協会企画催事	地球大交流広場、水と光と風のスペクタクル広場等にて協会が企画するメッセージ性の強い大規模催事への協賛あるいは設備参加する参加形態
	協会企画コンベンション	協会が主催、共催する国内外での国際会議に協賛あるいは支援する参加形態
技術協力参加		協会が事業化を進めているIT、会場内輸送、新エネルギー、リサイクル、森林体感プログラム事業に共同参加、支援する参加形態
催事参加	協会主催催事協賛	協会が企画・主催する各種催事（パレードや音楽イベント、ストリートパフォーマンス等）の共催あるいは協賛する参加形態
	自主企画催事参加	協会の催事ホール、広場等各種催事施設を利用し、企業等が自主企画した催事を持ち込んで運営・実施する参加形態
営業参加	テーマ営業参加	博覧会のテーマに沿った、個性的な営業施設を出店する参加形態
	飲食出店	サービス要員を配したダイニング型レストラン、家族連れや若者向けのファミリータイプの飲食店、セルフサービスによる飲食店、軽食やスナックなどの小型店舗、客席を有さないテイクアウト型店舗などの各種飲食店を出店する参加形態
	物販出店	協会で建設した店舗、販売店（一般お土産店、実演販売店）へ出店する参加形態 協会の指定する敷地に企業等が自ら施設（バザール館、ショッピングセンター、コンビニエンスストアなど）を建設し、出店する参加形態
	公式記念品販売参加	協会が定めた公式記念品を販売する店舗を出店する参加形態
	有料サービス参加	有料サービスを行う施設・店舗を展開する参加形態 （介護、コインロッカー、携帯情報端末の貸し出しなど）
広告参加	協会と企業等との共同出稿	協会と企業等で共同で広告を実施する参加形態 企業広告等の中での愛知万博PRも含む
	各企業等自身の出展PR出稿	企業等が出展内容について広告を実施する参加形態
	愛知万博応援キャンペーン	企業等が自主的に愛知万博を応援する広告を実施する参加形態 「頑張れ日本キャンペーン」のような形
	協会制作物への広告出稿	ガイドブック等、協会制作物へ広告出稿する参加形態
その他の参加	市民参加事業の協力・支援	市民活動や各種団体、学校、NPO/NGOなどの市民参加事業へ支援、協力する参加形態
	キャラクター事業参加	協会に契約料、ロイヤリティ等を支払い、マスコットキャラクターやオフィシャルテーマソングなどを商品化し販売する参加形態
	技術者派遣参加	専門的な技術者を協会に無償で派遣する参加形態
	ボランティア派遣参加	企業ボランティア休暇等の取得推進やボランティアの派遣などを支援する参加形態

市民参加

- 1) 市民の参加に向けては、推進組織の構築を支援するとともに、出展、運営など様々な事業への参加を推進する。
- 2) 市民交流プラザ及び地球市民村については、市民参加の核となる事業と位置付け、幅広い市民の参加を得て展開していく。

広域連携による参加

A. 会期中の広域連携

- 1) 瀬戸市、長久手町、豊田市といった会場市町、笹島地区をはじめとする名古屋市などホストシティやホストタウンとなる地域については、愛知万博のテーマや事業コンセプトに関連する事業、催事などを愛知万博サテライト事業（仮称）として位置付けて、積極的に推進する。
- 2) 愛知県内の市町村、また、研究機関、学校、企業、団体、市民が行う事業、催事などを、愛知万博パートナーシップ事業（仮称）として位置付ける。
愛知万博パートナーシップ事業（仮称）は、愛知万博会場内外に広域連携マップ等で紹介する。また、愛知万博会場と愛知万博パートナーシップ事業（仮称）を結んだ「産業文化観光ツアー」や「体験ツアー」などにより、愛知万博のPRと一体的に紹介していく。
- 3) さらに、公式参加国や国際機関に対する、県内外の市町村単位の支援やホームビジット等による「一市町村一国フレンドシップ」など、各市町村の国際交流の推進を図る。

B. 会期前のイベントとの連携

- 1) 自治体、企業、市民等が開催前に行う事業やイベントともパートナーシップ事業として連携し、後援、協力等を行う。（世界大会、コンベンション、音楽会、展覧会など）

(3) 参加勧奨の主な活動スケジュール

公式参加		2001年	参加招請状の発出 / 招請活動の開始 (在日外交団報告会 / B I E 総会対応)
		2002年	海外現地を中心とした本格的な招請活動の展開 (各国ローラ - 作戦)
		2003年	参加表明の確保と契約の締結 / 招請活動フォローアップ
		2004年	参加内容の確定と参加に対する実務支援活動の展開
		2005年	運営支援と各種交流プログラムの実施
市民参加	愛知万博ボランティア協会	2001年	基本方針の策定 / ボランティア協会設立準備会の立ち上げ
		2002年	ボランティア協会の発足 / 実施計画の策定
		2004年	ボランティア募集 / 採用 / 登録・研修
	市民交流プラザ	2001年	基本方針の策定 / 実行委員会準備会 (懇談会) の立ち上げ
		2002年	実行委員会の発足 / アイディア募集 / 実施計画の策定
		2003年	個別計画の策定 / 参加者募集 / 採用 / 登録 / 研修
		2004年	市民交流プラザの制作 / 施工 / 準備
	地球市民村	2002年 1~3月	基本計画と参加勧奨計画の策定 (参加プロモートの発足)
		4~12月	本格的プロモート活動の展開 / 実行委員会の発足 / 実施計画の策定
2003年		実施計画 / 参加プロモーションのフォローアップ	
2004年		パビリオン建設 / 展示演出の制作・施工	
企業・団体等の参加	パビリオン出展参加	2002年 1~2月	国内出展参加説明会の開催 / 現地見学会
		3~4月	出展参加申請の受付開始
		4~6月頃	パビリオン出展参加検討委員会 (仮称) の開催 ・ 申請内容の検討 ・ 敷地割り当ての検討
		7月以降	出展参加契約の締結開始 (予定)
	協会企画事業参加	2002年 1~3月	個別計画の策定上での企業・諸団体の意向調査及び提案受付
		4~5月	展示・協賛内容・事業総予算枠の策定
		6月以降	計画の具体化
	技術協力参加		<会場> <企画> <運営> のそれぞれの計画の進捗状況に対応して、企業・団体ヒアリングと参加招請を個別に実施
	催事参加	2002年 1~9月	催事基本構想、基本計画の策定
		9月以降	自主企画催事の参加案内と募集・検討
営業参加	2003年	催事実施計画の策定	
	2002年	基本計画の策定	
広告参加	2003年	営業参加募集開始 (予定)	
		計画の進捗状況に応じて随時、具体的なプログラムを実施	

自治体の参加については、計画の進捗状況に応じて適宜調整を行う。